

<目標> 生徒一人ひとりの「数学におけるよさや可能性」の確実な伸長を図る。

1	今年度の達成目標	数学検定 3級、準2級、2級合格 進研模試偏差値 55	担当 教師	
2	<p>数学科の指導                      &lt;授業の指導の重点&gt;                      (1)学習時間の確保・・・</p> <p>(2)思考力・表現力の育成・・・                      (3) ICT を活用した授業・・・                      (4)中高の系統を重視した指導</p> <p>&lt;授業外の指導の重点&gt;                      (1)個に応じた指導の充実                      (2)小テストの取組</p> <p>&lt;各種実力試験の実施&gt;                      (1) 数学検定試験・・・                      (2) 進研模試、等・・・                      (3) 県学力学習状況調査・・・</p>	<p>「数学 I」(週 4 時間)「数学 A」(週 2 時間)で、より発展的な学習を展開します。</p> <p>記述、論述を効果的に設定した授業展開で、思考力の向上を図ります。</p> <p>PP、映像資料やデジタル教科書を活用し、わかりやすい授業を展開します。</p> <p>「2次関数」「円」については、高校の学習内容と関連させ指導します。</p> <p>計画的な計算学習(朝学習)、放課後学習)で、計算の習熟と苦手克服を目指した指導を展開します。</p> <p>授業での小テスト結果により、学び直しの機会を設定し、基礎的基本的な知識・技能の定着を目指します。</p> <p>年 3 回実施される数学検定に挑戦します。3 級→準 2 級→2 級</p> <p>年 2 回受験し、数学力を判定します。その他、私学テスト、学力推移調査を活用します。また、高 1 対象模試を 1 回行います。</p> <p>年 1 回受験し、12 レベル 36 段階で経年推移と到達度を把握します。</p>		
3	指導教科書	数学 I & 数学 A Advanced (東京書籍)		
4	補助教材	PRIME 数学 I + A (東京書籍)		
5	評価・評定	<p>(1)定期考査・日常の学習状況を総合して評価します。</p> <p>(2)評価は、「観点別評価」、評定は 5 段階で行います。</p> <p>① 評価の観点(3 項目)</p> <p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>② 日頃の観察や面接試験等で「30%換算」します。</p> <p>③ 定期考査等で「70%換算」します。</p>		

《家庭へのお願い》

- (1)「家庭学習」・・・宿題、予習、復習を必ず行い、学習習慣の確立を目指してください。
- (2)「数学検定」・・・各学年で設定している目標達成に向けた計画的な取組にご協力をお願いします。
- (3)「その他」・・・学校では、授業内容や学習内容で分からない事項は、質問するように伝えています。  
ご家庭からも、わからないところをそのままにせず質問するようにご助言ください。

数学科指導計画

	教科行事	数学 I	数学 A	達成目標 (Can-Do) 数 I は○, 数 A は□
4月		1章 <b>数と式 (17)</b> 式の計算 実数 1次不等式	1章 <b>場合の数と確率 (27)</b> 集合 場合の数 確率とその基本性質 いろいろな確率	○整式の基本的な計算ができる ○因数分解の公式を理解できる ○数の世界について理解し, 絶対値を含む計算ができる ○不等式の意味を理解し, 1次不等式を解くことができる □図表示などを用いて, 集合と要素などの関係が理解できる □ド・モルガンの法則について理解できる □樹形図や順列・組合せの意味を理解できる □試行と事象, 事象の確率について理解できる
		2章 <b>集合と論証 (5)</b> 集合 命題と論証		
5月	中間考査			
6月	数学検定	3章 <b>2次関数 (35)</b> 関数とグラフ 2次方程式・2次不等式		○関数 $y=ax^2$ のグラフをかくことができる ○変化の割合・定義域・値域を理解できる ○平方完成をすることができる ○2次関数の最大・最小を理解できる ○2次方程式を解くことができ, 判別式について理解できる ○2次不等式を解くことができる □さまざまな確率の問題を集合, 論理と結びつけて理解できる
7月	期末考査 夏季講習 I			
8月	夏季講習 II			
9月			3章 <b>図形の性質 (25)</b> 三角形の性質 円の性質 作図 空間図形	□三角形のさまざまな性質について理解できる □チェバの定理, メネラウスの定理を理解できる □円のさまざまな性質を理解できる □基本的な作図ができ, 図形の性質を利用していろいろな長さの線分をかくことができる □空間における直線や平面の位置関係を理解できる ○三角比を理解できる ○正弦定理, 余弦定理を理解できる ○正弦定理, 余弦定理を活用して問題を解くことができる
10月	中間考査 I	4章 <b>図形と計量 (17)</b> 鋭角の三角比 三角比の拡張 三角形への応用		
11月	数学検定			
12月	中間考査 II 冬季講習		2章 <b>整数の性質 (18)</b> 約数と倍数	□整数の基本的な用語や最大公約数, 最小公倍数を理解できる □互除法を用いて 2元 1次不定方程式を解くことができる □2進数, 3進数などの加減乗除ができる
1月				
2月	数学検定	5章 <b>データの分析 (8)</b> データの整理と分析 データの相関	ユークリッドの互除法と不定方程式 整数の性質の活用	○代表値を理解できる ○2つの変量の相関をとらえることができる
3月	期末考査 春季講習			